

平成28年度 第1回 美深町総合教育会議議事録

美深町総合教育会議を次のとおり開催したので、その記録を美深町総合教育会議設置及び運営に関する要綱第7条に基づき作成いたします。

1 開催日時 平成29年1月30日（月）午後4時30分～午後5時30分

2 開催場所 美深町役場 大会議室

3 出席者

役 職	氏 名
町長	山口 信 夫
教育長	石 田 政 充
教育委員（教育長職務代理者）	宮 原 宏 明
教育委員	庄 司 村 尾
教育委員	清 水 満 寿 美
教育委員	坂 井 弘 明
美深町副町長	今 泉 和 司
総務課長	渡 邊 英 行
教育委員会教育次長	玉 置 一 広
美深町幼児センター長	藤 原 裕 子
総務課総務グループ主幹	小 林 一 仙
教育グループ主幹	大 堀 裕 康
教育グループ副主幹（学校）	和 田 政 則
教育グループ学校教育係長	佐 久 間 新 二

4 議 事

議案第1号 美深町小中学校の学力の現状について

議案第2号 美深町小中学校の体力の現状について

議案第3号 美深高等学校の振興について

5 会議記録

(1) 開 会（午後4時30分）

総務課長 ただいまから、平成28年度の総合教育会議を開催させていただきます。それでは、開会に当たりまして、山口町長からご挨拶申し上げます。

(2) あいさつ

- 町長 開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。
教育にも、いろいろと課題がありますが、1つには、仁宇布小中学校の在り方について、皆様にご検討いただいています。平成29年度の予算もまとまりつつあります。
今日の会議は、小中学校の児童生徒の学力や体力の現状が整理されてきていますので、議題にしたいと思います。子どもたちの教育は、基礎的に大事になってくる部分でありますので、よろしく願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

(3) 議 事

- 総務課長 それでは、早速議事の方を進めさせていただきますが、以降は町長が議長となって進めさせていただきますので、よろしくお願いします。
- 町長 それでは、「議事(1)の美深町内小中学校の学力について」事務局から説明をお願いします。
教育次長 (「美深町内小中学校の学力について」別紙により説明)
町長 続いて、「議事(2)の美深町内小中学校の体力について」事務局から説明をお願いします。
教育G主幹 (「美深町内小中学校の体力について」別紙により説明)
町長 町内小中学校の学力、体力について、資料に基づく説明が終わりましたが、ご質問、ご意見等ありませんか。
庄司委員 グラフを見ると、とても学力が低いように見えますが、美深の子どもは決してそうではないと思います。家庭での勉強時間が短いから成績が悪いというふうに感じます。ゲームの時間を減らして、勉強をする時間が増えれば、すぐに追いつけるのではないのでしょうか。
町長 児童生徒の数が少ないと、結果に偏りが出ることもある。たしかに、勉強の時間が少し足りないように思えないこともない。
宮原 全道平均を上げるには、低い地区の学力を上げるのが良い。3年位前に釧路でプロジェクトチームを立ち上げて、学力向上に取り組んだ結果、今では全道平均位に位置している。
名寄でもチームを立ち上げて取り組んだ結果、成績は良くなっている。
一丸となって努力すれば、ある程度上がるとは思いますが、気を付けなければならないのは、テレビやゲームの時間を減らして勉強する時間を増やそうとするのであれば、一定の規制をからめていかなければならないと考えると、家庭、町のバックアップがないとできないと思う。
町長 学校現場と協力しながら学力向上策を見出していきたい。
町教育長 町内それぞれの学校で課題が違うこともあり、これまでは学校ごとに対応してきた。美深小では、6年ほど前から習熟度別の取り組みをしてきた。数年前に一定程度の成果がでて、全国、全道を上回ることができた。このような中で今回のような結果となり、どう改善していくかというのは、学校現場でも議論されている。その年代によって、得意、不得意もあるので、一概に言い切れない部分もある。
毎年、学力調査の結果を踏まえて検証を行い、どのように克服していくかというのは取組としてやっている。ただ、結果がついてきていないという今年の状況です。
学習時間、テレビ・ゲームの時間については、社会教育分野の中でも、早寝早起き朝ごはん運動の取り組みを続けてきている。学校でも、学習の手引きを

- 出すなどして、指導してきている。
- 町 長 学力について、他にご意見等ありますか。
(「なし」の声あり)
- 町 長 続いて、体力についてですが、ご質問、ご意見等ありますか。
- 町 教 育 長 全国体力調査が始まったころは、美深町の子供たちは下位の方でした。今は、概ね全国レベルまで引き上がっています。各スポーツ関係者や学校の取り組みが功を奏したものだと思っています。その中で浮き彫りになってきたのが、スポーツをする子としない子が完全に分かれてきている。それが顕著に出てきているのが、中学生の女子です。この2層構造化を解消するのが今後の課題です。
数年前から、幼児センターで意識づくりをするということで、スポーツをする機会を増やして、スポーツに馴染む機会を作り、それが全体の底上げになると考えています。
- 庄 司 委 員 中学校の女子の部活ですが、昔はバスケットボールやバレーボールがあった。今では、人数が少なくなってきて、部活が無くなってきたのも影響していると思う。今は、個人競技がメインで、団体競技が無くなってきている。
- 町 長 体育会系の部活の指導者にも影響される。
- 町 教 育 長 教員採用試験の時に、受験者はいかにして受かるかというのを考える。採用試験には、体育がない。1次試験に合格するのは、学力です。2次試験は面接ですから、当然スポーツができるという人よりは学力の高い人が有利になっていると思う。
そのような状況もあると思う。
- 町 長 中学校の子供たちを見ていると、この頃はおとなしく感じる。もう少し元気があっても良いのでは。
学力も体力も、具体的な向上策はこれからの検討となります。
- 町 教 育 次 長 次に、「議事(3)の美深高等学校の振興について」説明をお願いします。
(「美深高等学校の振興について」別紙により説明)
- 町 長 説明が終わりましたが、ご質問はありますか。
(「なし」の声あり)

◎ 閉 会 (午後5時30分)

- 町 長 閉会に当たり、一言申し上げます。総合教育会議は頻繁に開催できるわけではありませんが、活発な議論ができればと思っていますので、よろしく願いいたします。
以上で美深町総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。
-